

視聴覚教育

ICTを活用した協働学習

現職研修委員会学習情報部長 内田 義和

教育におけるICTの活用には、授業の双方向性を高め、児童生徒の主体性、関心・意欲や知識・理解を高めるなどの効果があり、学力が向上することも実証されています。また、急速に進展する情報化社会の中で、児童生徒が情報や情報手段を主体的・積極的に活用する能力の育成が必須となっています。こうした状況の中、各国においては、国家プロジェクトとして教育におけるICT活用を推進しています。我が国においても、平成22年に教育分野におけるICT活用について、いくつかの政府方針が示されました。それに伴い総務省は、文部科学省と連携して「フューチャースクール推進事業」を開始。指定した小学校に、最先端ICT環境を整備・構築して、「協働教育」の実現のための実証研究を進めています。平成23年度からは、文部科学省「学びのイノベーション事業」との連携事業となり、中学校と特別支援学校を追加指定して、実証研究を行っています。さて、岡崎市では、こうした国の動向や実証研究を視野に入れながら、実効レベルでの実践が進められるように、他市町に先駆けてICT

NO. 382
発行日
24. 5. 31

発行
岡崎市AVL
編集
現職研修委員会
学習情報部

視聴覚用語

「フェイスブック」
世界最大のソーシャルネットワークキングサービス。実名登録のため多くは現実の人間関係を基に交流する。ツイッターに似ているがより多機能で、写真や動画なども表示される。企業が宣伝に使うこともある。

環境を整備・構築してきました。中でも一番力を注いだのが「子供たち同士が教え合い学びあう協働的な学び」です。授業の中でICTを効果的に活用して、積極的なプレゼンテーションや意見交換を促進することによって、学習指導要領の中でも挙げられている「思考、判断、表現する力」を育んできたのです。

本年度は、市内小中学校の校内LANが整備完了の予定です。センターサーバーを持つ岡崎市教育ネットワークにおいて、このことは大きな意味を持ちます。教育ネットワーク経由で、全小中学校の各教室から、「必要なときに、必要なだけ」ソフトウェアや各種の情報を利用することができるようになるからです。そして、映像や教材のオンデマンド利用、隔てた学校や地域との情報交流、WEB会議、研修のE・ラーニング化、クラウド・コンピューティングなど、教育の情報化を促進することによって、学校の枠を超えた協働的な学びを可能にしていきます。ICTを活用した協働学習をより具体化するには、各小中学校における実践の積み重ねと共有が欠かせません。整備・構築されたICT環境を生かした着実な実践の継続をお願いします。また、全国に先駆けた新しい活用法（イノベーション）の提案も期待しています。

II 視聴覚教育あれこれ II 平成二十四年度学習情報部方針決定！ 研究主題

デジタル社会における豊かな学びとメディア利用のあり方を追究しよう

研究の重点

- ① 岡崎市教育ネットワークの利用環境整備と活用法の研究
- ② 校内ローカルエリアネットワークの利用環境整備と活用法の研究
- ③ 50インチデジタルテレビなどの視聴覚機器やコンピュータの効果的な活用法の研究
- ④ 授業で活用できるデジタルコンテンツの収集と活用法の研究
- ⑤ パソコン教室の総合的な管理・運営方法の工夫
- ⑥ 学校教育放送や教育チャンネル、校内放送の活用法の研究
- ⑦ 情報モラルの育成や情報のセキュリティ意識の向上のための工夫

主任会の活動

- 〔広報部会〕：授業実践や研究集積、研究誌や月報の発行、「視聴覚教材・機器利用の手引き」の原稿執筆と発行など
- 〔研修部会〕：基礎研修会の計画や実施、学習ソフトの利用研究や活用促進、NHK学校放送番組関連表の作成、機器の調査など
- 〔教科部会〕：自作教材の活用促進、視聴覚機器やコンピュータソフトの利用促進やICT活用の授業実践、情報モラル教育の授業実践、デジタルコンテンツの集約など

Ⅱ平成二十四年度組織Ⅱ

■視聴覚ライブラリー 所長（教育長）

江村 力

副所長

宮田 典彦

専門主事

森 竜師

職員

服部 光晴

前川 友希

太田ますみ

■学習情報部組織 部長

内田 義和（葵中長）

丸尾 光司（常磐南小長）

入山 定之（豊富小長）

担当指導主事

小田 哲也（教育委員会学校指導課）

指導員

佐渡 英彰（矢南小） 岡 秀之（羽根小）

世話係

内田 雅之（井田小）

寛 哲也（南中）

川本 祐二（大樹寺小）
村田 貴志（六北中）

各部世話係

〔広報〕川本 祐二（大樹寺小）

三輪 恭之（六ツ美中） 井上 清美（夏山小）

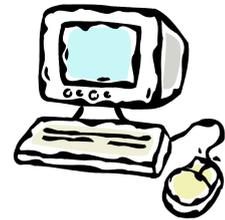
〔研修〕近藤 雄一（東海中）

神野 裕美（六西小） 鈴木 広樹（六中小）

〔教科〕村田 貴志（六北中）

杉山 康子（生平小） 服部 将也（葵中）

山口 秀樹（根石小）



各種大会 ・研究会の案内

《研究会》

・三教研自作視聴覚教材研究会

（八月）

・愛知県放送教育特別研究会・東
海北陸地方放送教育研究大会

（八月）

※この他、本年度も多くの大会や
研究会が予定されています。
是非ご参加ください。

《研究論文》

・インターネット活用教育実践コンクール

・松下教育研究賞、松下教育研究助成応募

・東京書籍教育賞

・上月情報教育研究助成

・ちゅうでん教育振興助成、ちゅうでん教育大賞
※県や市の教育論文をはじめ多くの応募機会が
あります。日頃の実践成果をまとめてみまし
よう。

《コンクール》

・岡崎市ふるさとメディアコンクール

・愛知県自作視聴覚教材コンクール

・RISO「育て！プリントコミュニケーション」
ン」コンクール

《児童・生徒のコンクール》

・NHK杯中学校放送コンテスト愛知県大会

・全国子ども科学映像祭

・パナソニック KWNコンテストなど

※児童生徒の作品コンクールも多数あります。
参加してみませんか。

ライブラリーだよ

新年度がスタートしました。ライブラリー
では、機器・教材の活用について、社会教育・
学校教育関係者のサポートをしています。相
談・利用をお願いいたします。

●教材・機材をご利用ください

教材・機材の検索や予約はライブラリーのホ
ームページから簡単にできます。教材だけでし
たら、電話で予約をし、交換郵便を利用して受
け取ったり返したりも可能です。「視聴覚教材・
機器利用の手引き」にもソフト一覧が掲載され
ています。昨年度に購入したばかりのDVD教
材もあります。授業やお昼の校内放送などの
活用を考え、ぜひご利用ください。

●視聴覚ライブラリーリクエスト講習会

撮影、編集や番組制作の支援を行います

子ども達によるビデオ制作、先生方へのビデオ
制作講習会等のお手伝いにライブラリー職員
が伺います。また、学校行事等の撮影、編集や
番組制作の支援も行います。視聴覚ライブラリ
ーにご相談ください。

●情報モラル出張講座を行います

インスタクターを派遣して、ネット社会の
危険な現状を保護者や地域の方々に伝えたり、
子どもたちをネット社会の闇から守っていくた
めの具体的な手立てについて話したりします。
ぜひ、お申し込みください。

●「視聴覚教材・機器利用の手引き」第17集

視聴覚機器の利用の仕方や活用の実践事例、
市自作ビデオ教材の活用事例と制作の歩みなど
が載っており大変参考になります。市内全教職
員に配布しました。ご活用ください。